

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：R5年1月31日

事業所名：ゆいまる なつつ

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
 評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	6	3	0	十分なスペースが確保されている。	34	3	0	7	室内の様子がわからないので何とも言えません	部屋の広さで利用者の特性をふまえて部屋割りをしたい。
	2 職員の適切な配置	3	4	2	職員の確保はできている。適切ではあるが状況により見守りが手薄になる時がある。	32	4	0	8		適切な人数で対応できるよう職員を配置していきます。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がい者の特性に応じた設備整備	1	6	2	玄関の段差にスロープを設置している。様々な利用者さんが安全に過ごせる場を工夫している。バリアフリーではない。	32	2	1	4	構造化は少し少ないかなと思います	十分ではないができるだけ工夫していきたい。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	6	3	0	毎日掃除の徹底を心掛けている。清掃専任のスタッフが勤務している。必要に応じアルコール消毒、換気を行っている。	35	2	0	7	お迎えに行った際におもちゃや部屋の消毒、喚起を下さっているのを見かけるので清掃をごまかして下さっていると感じる	今後も毎日の掃除、消毒の徹底を心掛けていきたい。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）への職員の積極的な参画	8	1	0	支援以外の業務に関しては、必要に応じて話し合い改善していくように心掛けている。						PDCAサイクルについての知識が薄い為、知識を持つ為の研修を行いたい。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	3	6	0	外部評価を依頼し改善につなげている。アンケートをとり改善に取り組んでいる。						今後も外部評価をふまえ業務改善を心掛けたい。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	9	0	0	施設内研修は定期的に行っている。研修の日程を事前に決め時間を確保している。						時期を見て外部研修やズーム研修への参加を募り、研修機会での脂質向上を目指したい。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	6	2	0	担当者会に参加し保護者さんからご要望を聞き取り作成している。	40	3	0	1	保護者の計画への聞き取り、すり合わせあってもいいと思います	担会等で得た保護者さんからの要望を計画に盛り込みながら計画書を作成していく。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	6	3	0	相談員さんから届いた計画書をもとに作成している。	39	4	0	3	成長や状況に合わせてもうひとつ踏み込んだ支援内容が設定されてもいいかと思います	個々の特性、能力に応じて無理なく活動に参加出来る内容を工夫していく。
	3 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	4	5	0	利用者さんみんなが楽しめるよう配慮、工夫をしている。						個々の特性、能力に応じて無理なく活動に参加出来る内容を工夫していく。
	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	5	4	0	適切な支援を問われると課題はあるが利用者さんには楽しかったと概ね満足していただいている。個別スケジュールカードの使用が曖昧になってきている。	40	1	0	3		計画書に基づいた支援まで至ってはいないが、今後の課題として職員間で話し合っていきたい。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	6	3	0	毎日担当スタッフが計画を立て、計画に基づいて話し合い決めている。						今のスタンスで今後も利用者さん楽しんでいただける活動を考えていきたい。
	6 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	8	1	0	マンネリ化しないよう季節に合わせた楽しいプランを考えている。他施設のプログラムを参考にしながら話し合い工夫している。	35	5	1	3	毎回いろんな活動を入れて下さり、子供が喜びそうで感心しています	毎月イベント内容を確認し利用者さんが楽しめる活動を盛り込んでいきたい。
	7 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	8	1	0	時間の過ごし方を考え利用者さんが楽しく過ごせるよう接している。						平日に行えないような活動を休日に設定するなどイベント内容を検討していきたい。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	9	0	0	決められた時間内で役割や注意事項など出勤職員全員で話し合っている。利用者さん受入前のミーティングに行っている。						毎朝のミーティングで確認を役割を徹底していく。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	9	0	0	その日あった事をミーティングノートに書きとめ全職員間で共有している。						帰りのミーティングで話し合った内容は全職員で共有し、次回の支援につなげていきたい。
	10 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	9	0	0	支援記録にその日の様子を記入することで確認・振り返り・改善点が分かりやすい。支援記録には正確にその日の様子をしっかりと書いている。						その日の様子が分かりやすいように記録を記入し改善点等があれば全職員で話し合う機会を設ける。
	11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	6	3	0	よりよい支援が提供できるようモニタリングにも十分取り組んでいきたい。						よりよい支援が提供できるよう定期的にモニタリングを行ってきたい。
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	6	2	1	児童発達支援管理責任者が対応するが、利用者さんの状況を把握している職員が対応することもある。						児童発達支援管理責任者だけでなく全職員で利用者の状況を把握していく。
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	2	5	2	現在該当する利用者さんはいない。						現在対象児童はいないが必要に応じて随時対応していきたい。
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	1	6	2	現在該当する利用者さんはいない。						現在対象児童はいないが必要に応じて随時対応していきたい。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標		
		はい	どちらか いい/悪い	いい/悪い	工夫した点、改善点	はい	どちらか いい/悪い	いい/悪い	わからない		保護者の方のご意見	
関係機関との連携 (続き)	4	児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校（小学部）等との間での支援内容等の十分な情報共有	4	5	0	資料等を用いて情報共有は行われている。						ケースに参加するなど今後も保護者さんの要望に応じていきたい。
	5	他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	3	6	0	保護者さんの要望に応じて行っている。系列施設に利用移行の場合は情報共有を行っている。						引継ぎ等、保護者さんの要望があれば応えていきたい。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	4	5	0	必要に応じて利用者さんの支援方針について助言をもらっている。研修開催時にはできる限り参加している。						コロナ禍でなかなか参加することが難しいが今後積極的に参加していきたい。
	7	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供	0	2	7	コロナ禍の為交流は自粛している。	13	7	9	15	コロナもあんなかなか他の施設の子供さんと交流することは難しいと思います。利用する回数が少ないので事業所全体の支援や活動内容が分からない部分もあります	コロナ禍で難しいが交流の機会を今後検討していければと思う。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	0	2	7	地域住民の方との交流は今後の課題だと感じている。様々な人とコミュニケーションをとる機会が増えるよう近所のお店で買い物したり、公園に行ったりしている。						コロナ禍で難しいが交流の機会を今後検討していければと思う。
保護者への説明責任・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	6	3	0	契約時に保護者の方へ説明を行い理解を得ている。	38	6	0	0		契約時の説明を今後も行っていく。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	5	4	0	十分な説明ができていない。今後検討していく必要がある。	36	5	3	0		利用者さんの困り事や課題、支援内容や方法など共通理解できるようにしていく。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	3	3	3	ペアレント・トレーニングの施設内研修は行っているが保護者支援にまでには至っていない。	21	8	8	7		ペアレント・トレーニングの研修は施設内で行っているが、知識が薄い。外部講師を招いての研修も検討していく。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	9	0	0	ご利用時には連絡帳を通してその日の様子を伝えている。また送迎時を利用し共通理解ができるように努めている。	36	7	1	0	連絡ノートにて近況の子供の様子を伝え、それに対する様子を口頭やノートにて答えて下さっています	今後も共通理解ができるように努めていく。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	7	2	0	相談があった時には対応する職員が決まっており迅速に対応している。相談しやすい雰囲気を作ってきた。	25	11	7	1	担当はあるがなつ自体での面談は契約時以来ありません	保護者の方に必要な助言ができるように、より専門的な知識や技術を学ぶ機会に今後も積極的に研修に参加したい。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	0	3	6	父母会は現在おこなっていない。	10	4	15	15		今後説明する場をもとめていきたい。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	9	0	0	苦情に対しては迅速に対応している。上司にも報告し、苦情報告書にて内容を記録し繰り返さないようにしている。	29	3	1	11	苦情だと思ってしまうことはないです。いつもありがとうございます	迅速かつ適切な対応ができるように心掛けていく。
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	8	1	0	配慮して対応している。	33	7	1	3	お互い細かく情報伝達ができていると思います	視覚的なものでお伝えしたり、電話でお話しさせていただく等の対応をしている。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	7	2	0	SNSで利用者さんの様子を配信している。	34	5	0	5	発信されているが自身の子供が載っていない様子がわからない。SNSで日々の様子を時々見られるのでありがたい。色んなコンテンツを使い利用の様子など発信されています	個人連絡帳にて個々の活動の様子の写真を添付してお知らせしている。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	9	0	0	十分注意している。肖像権においてはダブルチェックを徹底している。	39	3	0	2	文書にて細かく同意書を取り十分配慮されていると思います	肖像権の同意書をいただきた職員間で共有し、十分な配慮を今後も徹底して行く。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	5	2	2	職員間では共有している。	31	7	0	6	防犯マニュアルについてはわからない。マニュアルはあると思いますが見たことはありません	職員で研修・訓練を実施しているが、知識・技術の向上を目指していきたい。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的避難、救出その他必要な訓練の実施	6	3	0	年2回避難訓練を実施している。	24	6	0	14	定期的にあるかはわからない	定期的に地震・火災避難訓練を行っている。
	3	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	9	0	0	社内に虐待委員会を設け、施設内研修を実施している。施設外研修にも参加した。						委員会を設置し年2回の施設内研修を行うことで虐待への意識を高めていく。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	5	4	0	やむを得ず身体拘束が必要な場合、保護者さんへ十分な説明を行い同意をとって行う。						やむを得ず身体拘束を行う場合は事前に同意書をいただく。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	6	1	2	保護者さんからの情報をいただき、成分表・製造ルートを確認し、アレルギー食材が入っていないことをダブルチェックしている。						今後もアレルギーのある利用者さんに提供する食材はダブルチェックを徹底していく。
	6	ヒヤリット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	9	0	0	その都度作成し、職員全員が共有できるようにしている。						作成したヒヤリットを全職員で確認し、周知徹底を図っていく。